

令和7年3月31日



鳥羽市議会議長

河村 孝 様

住 所 鳥羽市白木町141番地
議員名 南川則之

政務活動費収支報告書

鳥羽市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項に基づき、次のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入 政務活動費 156, 000 円

2 支 出

(単位:円)

科目	金 額	備 考
調査研究費		
研修費		
広報費	156, 000	「南の風だより」発行
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務費		
合計	156, 000	

3 残 額 0 円

支 出 伝 票

使途項目	広報費
支 出 金 額	156,000 円
支出年月日	令和6年9月18日・令和7年2月17日
使 途 内 容	「南の風だより」印刷代・新聞折込代
領収書・その他証拠書類	
☐ 裏面添付	第11号（令和6年9月15日発行）印刷代・新聞折込代82,395円 第12号（令和7年2月15日発行）印刷代・新聞折込代80,646円 印刷代・新聞折込代合計163,041円 うち政務活動費156,000円 自己負担 7,041円
支 出 先	大和印刷
按 分 率 等	
備 考 欄	

領 収 証

南川 則之 様

No. _____
令和 6 年 9 月 18 日

金額	百万	十万	万	千	百	十	円
		9	8	2	0	9	5

現金	✓
振込	
小切手	

但し南川利子 1人 5月25日迄
上記金額正に領収いたしました

〒516-0007 三重県伊勢市小木町

大 和 印 刷

TEL. 0596-36-2616
FAX. 0596-36-2658

登録番号: T2810647666010

内消費税(10%)

¥ 7,490

抜者印



領 収 証

南川 則之 様

No. _____
令和 7 年 2 月 17 日

金額	百万	十万	万	千	百	十	円
		9	8	0	6	4	6

現金	✓
振込	
小切手	

但し南川利子 12号 印刷費折込
上記金額正に領収いたしました

〒516-0007 三重県伊勢市小木町

大 和 印 刷

TEL. 0596-36-2616
FAX. 0596-36-2658

登録番号: T2810647666010

内消費税(10%)

¥ 7,981

抜者印



南の風だより

パリ五輪・フェンシングエペ団体

(山田優選手・銀メダルおめでとう！)

今年の夏は、パリオリンピックが開催され、熱い戦いが繰り広げられました。鳥羽市出身の山田優選手がフェンシングエペ団体に出場しました。市民の皆様と共に熱い声援を送り、見事に銀メダルを獲得しました。本当におめでとうございます。

普通交付税等の財源との兼ね合いも考慮しながら、希望者に接種していただきやすいあり方を検討していきます。また、国に対して、全国市長会を通じ、対象者が季節性インフルエンザワクチンと同水準の負担で接種できるような財源支援を要望します。

令和6年6月定例会で予算が確定しました。定期接種対象者(65歳以上、60〜64歳で重症化リスクの高い人・市内約4300人分)接種時期 年1回秋冬を想定接種費用153000円程度国の助成 83000円市の助成 49000円自己負担 21000円

猛暑の夏でしたが、市民の皆様、いかがお過ごしでしょうか。鳥羽市がどのように発展すべきか、自分がどのような役割を担うべきか、市民の皆様の声を受けて行動し、全力で働いていきます。

今回は市議会において、令和6年3月、6月の定例会での私の一般質問を中心にご報告させていただきます。

令和6年度条件付き一般競争入札において、落札回数0回が入札不参加の6社を含めると15社とのことです。市内格付け業者43社で、条件付き一般競争入札件数が48件では少なすぎると感じます。今後も市内業者を支える立場の市長として発注件数を

算基準を改定していますが、鳥羽市は見直しを行いましたか。

(答弁 建設課長) 国の改定により、県も5月10日付で改定ということですが、鳥羽市も令和6年4月1日付で改定する方向で調整しています。

答弁の通り、市は、本年4月1日から共通費の見直しを行いました。市内業者さんにとって、建築工事設計積算における経費が増加して明るい話題となりました。

市内業者を支えるための、条件付き一般競争入札の減少対策について市長に質問しました。

(質問) 令和5年度の条件付き一般競争入札において、落札回数0回が入札不参加の6社を含めると15社とのことです。市内格付け業者43社で、条件付き一般競争入札件数が48件では少なすぎると感じます。今後も市内業者を支える立場の市長として発注件数を

増やしていく考えはありますか。

(答弁 市長) 市内業者の育成、市内経済の活性化はとても大切なことだと思っています。限られた財源を有効活用し、発注件数の増加については可能な限り対応していきます。

(質問) 本市の建築関連工事の設計は、未だにエクセル手計算。国の基準に準拠した営繕積算システムへの導入の必要性について質問しました。

(質問) 三重県内は北勢地域の市は、正確な積算と国の基準に合わせた改定を行うため、国の基準に準拠した営繕積算システムを導入しているが、鳥羽市も取り入れるべきではありませんか。

(答弁 建設課長) 作業の効率化など今後進めていく必要があると思います。導入の時期は未定であります。市の状況など今後導入の方向で検討していきたくと考えております。

今後の新型コロナウイルスワクチン接種の公的支援について

令和6年3月定例会で、新型コロナウイルスワクチン接種の公的支援について市長に質問しました。

令和6年度鳥羽市一般会計予算について市長に質問しました。

一般会計予算

継続した林道整備と維持管理について

市が管理する林道は、どれだけの状況ですか。

(質問) 市が管理する林道は、どれだけの状況ですか。

令和6年度鳥羽市一般会計予算について市長に質問しました。

令和6年度鳥羽市一般会計予算について市長に質問しました。

令和6年度鳥羽市一般会計予算について市長に質問しました。

令和6年度鳥羽市一般会計予算について市長に質問しました。

令和6年度鳥羽市一般会計予算について市長に質問しました。

令和6年度鳥羽市一般会計予算について市長に質問しました。

令和6年度鳥羽市一般会計予算について市長に質問しました。

2024年9月15日発行

発行責任者 鳥羽市議会議員 南川則之 (みなみがわ のりゆき)
〇連絡先 〒517-0043 鳥羽市白木町141番地
電話 090-2687-8799

南の風だよりについて

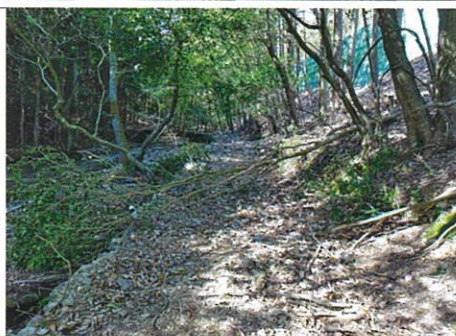
北風のように、市民の皆さんの生活に冷たい風を吹き付けるのではなく、南の風だよりを通して、市民の皆さんの日々の生活に温かい風を送り続けるように頑張りたいと考えています。市民の皆さんのご意見、ご要望を是非お寄せください。



(答弁 農林水産課長) 市が管理する林道は5か所あります。松尾町地内のコラ山林道・松尾町地内の逢坂林道・船津町地内の幸丘林道・河内町地内の中津林道・河内町地内の七石林道

七石林道については、林道に接続する市道の一部で石等が路面に散乱し、林道においても石の散乱と倒木が複数か所あることから、車両の通行は困難な状況であります。(裏面につづく)

市道北山七石線の状況



(岡村廣治さんのこの一枚)

岡村廣治さんは、船津町にお住まいで、「フォト・アート・いせ」の会員です。この写真は、伊勢市津村町でアオバスクのヒナのエンゼルポーズを瞬間的に撮影したものです。



〔質問〕
七石林道に接続する市道北山七石線の管理状況はどうですか。

〔答弁 建設課長〕

現在、三重県が鳥羽河内ダム建設に伴う市道の付替え道路を施工しています。その工事に伴う落石等が懸念されることから、安全確保のため地元の了解を得て、令和5年6月1日から令和10年度末までのダムが完成までの期間は全面通行止めの措置をとっています。

現在、車両通行が困難になっている七石林道について厳しく追及しました。

〔質問〕

市が管理する河内町地内の七石林道については土砂の流入、落石、倒木などで作業用のトラックも通行できず、徒歩でも支障をきたしており、適切な管理をしているとは言えない状況です。早急な林道整備の予算措置が必要と考えますがどうですか。

〔答弁 副市長〕

七石林道は決して健全な状態とはいえないかと思っております。必要に応じて林道の管理等の予算措置をしていきたいと思っております。

〔答弁 市長〕

森林の保全を進めることは、大変重要な施策であると思っております。林道の管理者として林道整備を行い、利用者の通行の安全確保を図る必要があると認識しています。今後も必要に応じた林道整備の予算措置をしていきます。



車両通行ができない七石林道の状況

令和5年1月に加茂小学校の6年生が鳥羽市議会議員と「ミライトーク」を実施しました。

テーマは、「鳥羽の森を守るためには何ができるか」

・森の未来は鳥羽の未来
・森とともに生きる
・森と友達、森林を守るためにできること
・木を見て鳥羽を見る、森から考える鳥羽の未来
・わたしたちと森と水と、豊かな森をいつまでも
子ども達の「森への思い」大切にしていきたいと考えます。

市営定期船出港後の緊急時の対応

令和6年3月18日答志航路において、午前6時55分発の定期船「かがやき」が佐田浜桟橋に着船しようとしたが、強風により操船できず中之郷桟橋への臨時寄港となる事案が発生しました。

定期船出港後の緊急時の乗船客に対する市の安全最優先意識の徹底について質問しました。

〔質問〕

当時の気象状況及び各航路の運行状況はどうでしたか。

〔答弁 定期船課長〕

当日の気象状況は、天候は晴れ、視界や視程は良好である一方、西高東低の冬の気圧配置で北西の風が強い状況でした。佐田浜桟橋への着船を試みるも強風にあおられ操船できない状況で、危険を回避するため中之郷桟橋へ臨時寄港しました。

佐田浜桟橋付近の写真



中之郷桟橋への臨時寄港乗船客
答志航路(6時55分発) 39名
神島航路(7時発) 17名
桃取航路(7時20分発) 59名

〔質問〕

強風により佐田浜桟橋に着船できず、中之郷桟橋への臨時寄港となる事案が発生しました。緊急時における旅客輸送の安全優先意識の徹底と、定期船運航に係る市長の責任と役割の認識をどのように考えていますか。

〔答弁 市長〕

鳥羽市運航安全管理規程による安全運航に係る事項を確実に実行していく責務を充分認識しています。荒天時の安全運用や住民対応に対しても積極的な関わりを持っています。

昭和45年から見直しを行っていない手当

〔質問〕

職員の特殊勤務手当は、その勤務の特殊性に応じて支給すると定めています。船長、機関長の手当はどのように定めていますか。また、運航管理者の手当は定めていますか。

〔答弁 定期船課長〕

鳥羽市定期航路船舶職員の特殊勤務手当の支給に関する規則において「船長の職務に従事したときは一日につき120円」、「機関長の職務に従事したときは一日につき80円」としています。同規則は

昭和45年に施行されておりますが、金額等については変更していません。また、運航管理者の手当については定めていません。

〔質問〕

船長、機関長、運航管理者の業務は激務であります。現行の手当等を見直すなど、船員の処遇改善を行うことは急務であると考えますが、総務課長に処遇改善を指示しているのかを含めて市長にお聞きします。

〔答弁 市長〕

船員に限らず、可能なところから職場環境の充実・処遇改善に努めていきたいと考えています。総務課長には、着任前後にも指示をしております。

船員のなり手不足が深刻化しております。職責に応じた手当を検討すべきではありませんか。自動販売機でコーヒーも買えない手当はすぐにでも改定すべき事案です。

航行中の市営定期船



町の話題・取り組み

ニホンザル対策会議

令和6年6月25日白木町コミュニティセンターでニホンザル対策検討会が開催されました。県・市の担当者に加茂地域の町内会役員などが、兵庫県立大学の山端直人教授をお招きして、伊賀市での取り組みなど、ニホンザル対策の取組み事例などが紹介され、駆除方法などを議論しました。

山端教授は、対策をしつかりやれば群れはゼロにできると力強く話をされました。獣害対策待ったなし！



兵庫県立大学山端直人教授の説明

市民の森・ラジオ体操

市民の森では、毎朝6時30分のラジオ体操に参加する市民が20人から30人程度おられます。

ウォーキングと併せて、健康寿命を延ばそうと頑張っています。朝から笑いあり、時には手品も飛び出す楽しいラジオ体操です。



ラジオ体操を行う市民の様子

菅島でしろんご祭り開催

菅島町で7月6日、大漁と海上の安全を願う海女の伝統行事「しろんご祭り」が盛大に行われました。

島の海女約20人が海に潜り、アワビの初採りを競いました。700年前から続く行事です。島がにぎやかなのがうれしいという島民もおられました。

今年も市民、観光客など多くの人が「しろんご祭り」を楽しみました。



「まねきアワビ」を白蛇神社へ

今後市民の皆様のご意見、ご要望を私にお寄せください！

南の風だより

2025年 2月15日 発行

発行責任者
鳥羽市議会議員 南川則之
(みなみかわ のりゆき)
○連絡先
〒517-0043
鳥羽市白木町141番地
電話 090-2687-8799

鳥羽中央公園リノベーション事業

市民が望む鳥羽中央公園が（課題を質問）

令和7年を迎え、私の市議会議員としての活動も今年の4月で2期6年が経過します。皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。
市民の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

鳥羽市がどのように発展すべきか、自分がどのような役割を担うべきか、市民の皆様

の声を聞いて行動し、全力で働いていきます。
今回は市議会において、令和6年9月、12月の定例会での私の一般質問を中心に報告させていただきます。

鳥羽中央公園一帯の活用について



鳥羽中央公園完成予想図

（質問）
鳥羽中央公園リノベーション事業の進捗及び今後の計画はどのようになっていますか。

（答弁 建設課長）
平成30年度に公園施設の再整備に向けた改修基本計画を行い、令和元年度から令和7年度で全体事業費は約22億7000万円です。事業期間を令和10年度まで延長する予定で、今後の事業費は約2億3000万円を見込んでいます。

（質問）
市民プールについて、一部リノベーションしています。が、利用、安全対策などについて市民、利用者からの要望は届いていますか。

（答弁 生涯学習課長）
プールに関しては、まず、更衣室のロッカーは長年利用により鍵の紛失や破損により全てのロッカーの鍵がからず、衣類管理上、鍵がかかるようにとの声があります。
また、女子更衣室床面のマットが破損しており、適宜補修対応しています。その他、プールサイドの床材の亀裂、

浄化槽の蓋の腐食などです。

＊鍵のかららない更衣室のロッカー
（早急に対策してほしいの声が上がっています！）



鍵のかららないロッカー



プールサイドの浄化槽蓋の腐食



室内に日差しが入る体育館

南の風だよりについて

北風のように、市民の皆様への生活に冷たい風を吹き付けるのではなく、南の風だよりを通して、市民の皆様の日々の生活に温かい風を送り続けるように頑張りたいと考えています。
市民の皆様のご意見、ご要望を是非お寄せください。



市内小中学校の新しい学び方・休み方について

した対応ができていないのが現実で、予算面も含めて、十分に協議しながら対応するように指示したところです。もう少し迅速な対応ができると思います。

（質問）
鳥羽市は全国有数の観光地ですが、市内の就業者数などの状況はどうですか。

（答弁 企画財政課副参事）
令和2年国勢調査によりみると、市内就業者数8588人のうち、第3次産業に携わる方は6012人で割合は70%です。また宿泊業及び飲食サービス業に携わる方は1866人で割合は21.7%です。

（質問）
子どもたちが保護者との校外学習等を目的に、平日に学校を休める制度を導入している事例が増えています。大分県別府市では「たびスタ休み」、愛知県では「ラーニングの日」と名づけた制度を導入していますが、どのような取り組みですか。

（答弁 学校教育課長）

令和5年度に愛知県が全国に先駆けて、未来につながる家庭での主体的な学び・体験的な学びを応援するために、学習、ラーニングと休暇、パークションを組合せて「ラーニングの日」と名づけ、新しい学び方・休み方として制度を導入しています。登校しなくても欠席扱いとせず、出席停止・忌引等と同じ扱いにしています。保護者の休暇に合わせて、年に3回まで取得できます。

また、大分県別府市が、平日の家族旅行を推奨し、旅育の推進と平日や閑散期への観光需要のシフトによる地域経済の活性化を目指す取り組みとして、旅と学習、スタディを組合せて、たびスタ休暇と名づけ、新しい学び方・休み方として制度を導入しています。

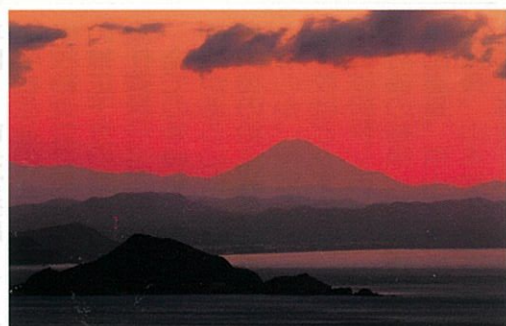
（質問）
三重県下の市町に先駆けて、観光地鳥羽の売りとなり、市内小中学校の新しい学び方・休み方の実施に向けた制度が必要と考えますが、中村市長の認識と取り組み意図があるのかお聞きします。

（答弁 市長）

鳥羽市では、土日などが繁忙期となり観光業、サービス業で働く人が多く、週末に家族が一緒に過ごす時間が限られる現状です。多様な価値観や考え方に基づく、新しい学び方・休み方の実施について検討して、先行事例の自治体の様子も参考に検討していきたいと考えています。

（岡村廣治さんの一枚）

岡村廣治さんは、船津町にお住まいで、「フォト・アート・いせ」の会員です。
この写真は、令和7年1月5日午前6時過ぎに伊勢志摩スカイラインから撮影した「夜明けの黒富士」です。前面に神島が映し出されています。



市職員の働き方改革について

＊9月及び12月の定例会一般質問で「市職員の働き方改革」について質問しました。

（質問）

カスタマーハラスメント対策として職員の名札の表記を名字のみに改めている市が増えています。私の知る限りでは、津市、松阪市、尾鷲市、伊勢市、志摩市などです。職員組合からも要望が出ていますが、カスタハラ対策として名札表記を名字のみに改めるよう検討していただきたいと思います。市長の判断はどうですか。
（裏面につづく）

(答弁 市長)

名札の表記については、職員のパライバシーや個人情報を守るため、名前の表記をフルネームから名字だけにすることを担当に検討するように指示し、既に4月から始めるようにしています。年当初からできないかとの質問ですが、そのことも含めて検討させていただきます。

(質問)

職員の業務改善として、各課の窓口業務の実態と改善点についてですが、代表して、市民課窓口における職員の昼休みの現状と課題についてはどうですか。

(答弁 市民課長)

連絡所窓口については、各連絡所とも少人数で交代ができることから、地元のご理解をいただき平成22年4月より、正午から午後1時まで窓口を閉めています。市民課窓口職員の昼休憩については、交代で時間を前後にずらして取得しており、窓口を閉めずに対応しています。課題としては、窓口にお客様が多く途切れないことがあり、その場合は、昼休憩が大きくずれ込むことがあります。

(質問)

手当等の見直しについては、6月定例会でも一般質問し、検討は進めているとのことでしたが、検討は終わったのか、いつ手当等の見直しを実施しますか。

(答弁 市長)

現在まだ検討中で、手当については来年度の見直しは行いません。

(質問)

人事院勧告により市職員に對して地域手当4%の完全実施を行うべきと考えますが、市長の判断はどうですか。

(答弁 市長)

地域手当の支給割合に関しては、令和7年度2%とし、令和9年度までに1%ずつ段階的に支給割合を上げていきます。

*市職員がモチベーションを持って働くためには、手当等の見直しは急務です。

また、地域手当も他市では令和7年度から4%の完全実施を考えているところもあります。

鳥羽市で働きたいと思っていたら、処遇改善が必要だと思います。

坂手町において 誰もが暮らしやすい まちづくり

鳥羽市の人口は、令和6年10月末日現在、1万6432人、うち65歳以上の高齢者は6799人、高齢化率は41.4%です。その中でも坂手町は人口238人、うち65歳以上の高齢者は173人、高齢化率は72.7%です。高齢化が進む坂手町においても誰もが暮らしやすいまちづくりを行うため、最大限の公的支援の必要性について質問しました。

(質問)

坂手町は、集落支援員が活動を展開していただき「まちサポート」の活動を展開していますが、どのような取り組みですか。

(答弁 健康福祉課長)

集落支援員数名で、防災課題を入口に日常の暮らしの中で希薄になってきているつながりを維持する様々な活動をしていただいています。災害時に活用できる井戸の調査や個別避難計画の作成、敬老事業などで町内会と連携した取り組みをしていただいています。集落支援員の企画したイベントの「あやめカフェ」は、あやめ館で昨年12月からこれまで6回開催し、参加者は毎回40人から60人です。



「あやめカフェ」の様子

(質問)

市立坂手診療所の運営体制はどのようなになっていますか。

(答弁 健康福祉課副参事)

坂手町では高齢化が進んでいるため、患者の中には坂の上にある診療所まで通院するのが難しい人もいます。酸素吸入している人など、外出が容易でない場合もあります。これらに対応するために診療所では、訪問診療に特化する曜日や時間帯を設けて自宅訪問しています。

(質問)

坂手公民館でのふれあいいきいきサロンの実施状況はどうですか。

(答弁 健康福祉課副参事)

ふれあいいきいきサロンは、公民館を開催場所に令和5年度は22回開催し、参加者は延べ352人でした。令和6年度は9月まで9回開催し、延べ103人の参加がありました。参加者から毎回楽しみにしているとの声のほか、サロンを運営しているかたからは、施設にエアコンがなく、令和6年度は夏場の開催を中止したと聞いています。

(質問)

私も公民館の修繕等については、要望があることを聞いていますが、町内会からの要望、検討内容、今後の実施についてはどうですか。

(答弁 生涯学習課長)

会議室床については、坂手分館浄化槽等改修工事を含め令和7年度に計画しています。エアコンについては、近年の夏の暑さ、あるいは避難所としての活用等も勘案しますと、早急に対応する必要性があると考えています。玄関のスロープについては、選挙の際の車椅子対応ということ、こちらの提案を基に、町内会長と協議を続けています。

(質問)

坂手公民館は、土砂災害特別警戒区域レッドゾーンに位置付けられており、土砂災害の指定緊急避難場所になっています。公民館の背後地を工事実施することで指定されるように坂手町内会から強く要望が出ています。早期の実

施についてお聞きします。

(答弁 建設課長)

レッドゾーンを解消するため公民館背後地の急傾斜地崩壊対策事業の事業採択に向けて令和5年度から三重県と協議を進めてきました。現在、三重県が令和7年度事業着手を目指し、用地調査を実施しています。

*町内会長の強い願いが届きました。

石鏡公民館、桃取コミュニティアリーナと同様に三重県が公民館の背後地の工事を実施していただくことにより、坂手公民館が土砂災害の指定緊急避難場所への指定となります。

津波避難場所に位置する旧坂手小学校は耐震性がないとされています。早期に撤去すべきと考えますがどうですか。

(質問)

旧坂手小学校は鉄筋コンクリート造りで、昭和36年に建築されたものです。平成21年に鳥羽小学校へ統合されてから廃校舎となっています。当該施設は耐震性がなく、なるべく早い時期に解体に着手する方向で考えていきます。

(答弁 教委総務課長)

坂手町では災害時に市政の手が届きにくい大規模災害に備え、耐震性貯水槽の設置を計画していただいています。設置場所、利用内容についてはどうですか。

(質問)

耐震性貯水槽の設置場所は、津波避難場所であり、給

水拠点でもある旧坂手小学校のグラウンドを予定しており、効果的な給水活動を行うことが期待されています。仮に耐震性貯水槽の容量が6立方メートルとした場合は、島民の方の4日間の必要水量となります。また、坂手配水池にも緊急遮断弁により水が貯留されますので、21日間分が確保され、合計で25日分の水量が確保されることになりました。

*能登半島地震においても水の確保は重要課題でした。

支援の手が届きにくい坂手町です。25日分の水量の確保はありがたいです。

(質問)

坂手町へのケーブルテレビ、海底ケーブルの断線後の市の対応はどのようになっていますか。

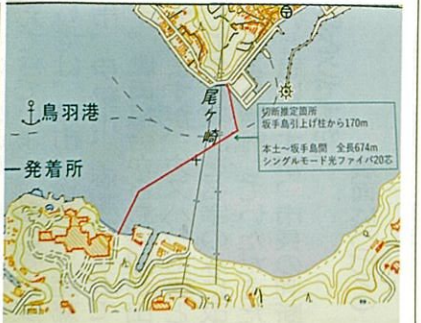
(答弁 総務課副参事)

昨年の5月14日、ZTVの海底ケーブルの断線により、坂手島全域でテレビ、インターネット、IP電話の利用ができないう状況となりました。連絡所においても各種証明書発行業務、診療所では会計ソフトに不具合が出るなど、行政サービスに影響が発生していました。事業者とは、復旧に向けての協議や工事への協力を行ってまいりました。

(質問)

現在、本復旧工事が終了し、断線前とほぼ同様のサービスが提供できていると報告を受けています。本復旧工事は、再発防止のため、海底ケーブルの敷設ではなく、本土側と坂手町の間を無線回線による接続方法を取ったと聞いています。

ZTV海底ケーブルの断線



市議会の力

*国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して小中学校の2月、3月分の学校給食費の無償化が実現しました。

令和7年1月20日本会議を再開し、市長が提出しました中学校生徒の2月、3月分の学校給食費を無償化するための補正予算の審査を予算決算常任委員会が実施しました。

全ての委員が「国の交付金の残があるのに、何故、中学校生徒の給食費だけを無償化するのか、保育所、幼稚園、小中学校はどうするのか」と委員会は紛糾しました。

討論の結果、河村議長、濱口副議長、南川予算決算常任委員長、山本欽久副委員長の4名で市長に申し入れを行いました。

市長は国の交付金の早期活用のため、小学校を含めた訂正議案を提出しました。

令和7年度以降については、新市長の政策判断となります。今後、市民の皆様のご意見、ご要望を私にお寄せください。